

説明・記載例 (調停申立書・賃料 増減額請求)

「申立ての趣旨」には、あなたが調停手続で、どのような解決を求めるのかその結論を簡潔に書いてください。

何月分から家賃の値上げ(値下げ)をしてほしいのかを書いてください。

家賃をいくらにしてほしいのか、その金額を書いてください(その金額とは、値上げ(値下げ)幅ではなく、値上げ(値下げ)後の家賃のことです。)。賃料の改定額をいくらにしたらいいか分からないときは、「相当額」の□をレ点でチェックしてください。

あなたが相手方に申し入れた値上げ(値下げ)後の家賃(又は既に支払っている家賃との差額)の申し入れをした日から調停を申し立てるまでの合計額の支払を求めるときは、この□をレ点でチェックし、その金額を書いてください。

申立ての趣旨

- 相手方は、申立人に対して、別紙物件目録記載の【土地/建物】の賃料を、令和 ● 年 ● 月分から、
 【1か月金 円/相当額】に増額する。
 【1か月金 円/相当額】に減額する。
- 【相手方は、申立人に対して、金 円を支払う。】

との調停を求める。

説明・記載例 (調停申立書・賃料 増減額請求)

相手方と初めて結んだ契約の内容を書いてください。
その後、家賃が改定されたときは、現在の家賃の額とその額に改定された日を「(3)賃料」の()内を書いてください。

なぜ今の家賃を改定してほしいのか、該当する□をレ点でチェックしてください(レ点でチェックするのは、いくつでも結構です。)。その他の理由があれば、空欄の□をレ点でチェックした上、空欄にその理由を書いてください。

紛争の要点

1 賃貸借契約の内容

【申立人/□相手方】(賃貸人)は、【相手方/□申立人】(賃借人)に対し、別紙物件目録記載の【建物(以下「本件建物」という。)/□土地(以下「本件土地」という。)]を以下のとおり賃貸し、これを引き渡した。

(1) 契約日 【□平成/ 令和】 ● 年 ● 月 ● 日

(2) 賃貸期間 ● 年
□【□平成/□令和】 年 月 日から
【□平成/□令和】 年 月 日まで
□定めなし

(3) 賃料 1か月金 ●●●● 円
(【□平成/□令和】 年 月 日から1か月金 円)

(4) 書面による連帯保証
□あり 連帯保証人【(□相手方 □)】
なし

(5) 特約
なし

2 賃料改定の理由

- 固定資産税その他の負担が【□増えた。/□減った。】
- 土地や建物の価格が【□高くなった。/□低くなった。】
- 付近の建物と比較して賃料が【□高い。/ 低い。】
- その他確認を求める賃料が相当であることを基礎づける具体的な事情

※ 上記で選択した固定資産税その他の負担、土地・建物の価格及び付近の建物の賃料の額の増減の具体的な金額やその推移については、各選択肢の下に適宜スペースを設けてご記載下さい。

3 【□賃料改定を申し入れた日 令和 年 月 日】

「紛争の要点」には、あなたと相手方との間で、紛争となっている内容を、具体的かつ簡潔に書いてください。
どのような事実経過があったのか、その結果、法律的にどのような解決を求めるのかを書いてください。

家賃の値上げ(値下げ)を相手方に申し入れた場合は、□をレ点でチェックした上、その日を書いてください。
なお、直接口頭で申し入れをしたときはその日を、書面で申し入れをしたときはその書面が相手方に到達した日を書いてください。

説明・記載例
(調停申立書・賃料
増減額請求)

相手方の言い分や、この紛争について
他に参考になることを書いてください。

(その他の参考事項は以下のとおり)

相手方は、令和●年●月分から毎月●●●●円を●●法務局に供託して
いる。

